土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防指定地内河川　常清滝川　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor-5	**調査位置**	広島県三次市作木町下作木			**北緯**	34° 51′ 54.7984″
発注機関	広島県北部建設事務所			**調査期間**	2023年　3月　9日 ～ 2023年　3月　14日	**東経**	132° 43′ 15.4251″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 143.61m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	東邦地下工機D1-B58		
総削孔長	8.00m								**エンジン**	ヤンマーNFD-13	**ポンプ**	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1	143.36	0.25		舗装土		暗茶				細砂主体。 粘土分少量含有。 径20mm程度の亜角礫少量混入。 表層15cm程度木片少量混じる。			40	1.15	25	7	8	40	360		1.15					3/9
				玉石混じり砂礫		暗灰	rd4							1.45	50			50	100	100	1.45	P5-1	⊖			
2										中～粗砂と径20～30mm程度の亜角礫主体。 深度が深くなるにつれ，礫分増加する。			150	2.05							2.05	P5-2	⊖			
														2.15							2.15				
3	140.61	3.00		砂礫		暗灰	rd3			中～粗砂と計20～30mm程度の亜角礫からなる砂礫。	03/13 2.82		18	3.15	5	6	7	18	300		3.15	P5-3	⊖			
	140.01	3.60												3.45							3.45					
4				玉石混じり砂礫		暗灰	rd5			中～粗砂と径20～30mm程度の亜角礫主体。 コア長5～15cm程度の硬質な礫や玉石が点在する。 深度4.30m以深，玉石密集する。			58	4.15	5	18	27	50	260	260	4.15	P5-4	⊖			
	138.96	4.65												4.41	50			50	50		4.41				
5	138.61	5.00		流紋岩		暗褐灰							500	5.00	50			50	30	30	5.00	P5-5	⊖			3/10
										基盤の流紋岩，軟岩II。 コアは岩片状で採取。 風化が進み褐色を呈する。 ハンマー打撃により鈍い金属音がする。				5.03							5.03				
6				流紋岩		濃青灰								6.00	50			50							
														6.00	0			0							
7										基盤の流紋岩。中硬岩。 コアは棒状で採取。 比較的新鮮である。 ハンマー打撃で金属音がする。				7.00	50			50							3/13
														7.00	0			0							
8	135.61	8.00												8.00	50			50							3/14
														8.00	0			0							
9																									